

【博士課程後期】

募集部門と担当者及び主研究内容、履修方法

◇募集部門と担当者及び主研究内容

| 部 門 | 研究指導科目 | 担 当 者 | 主 研 究 内 容 |
|-------------------|----------------------|--|---|
| 健康運動科学 | 健康運動科学 特別研究 | ○教授 博士(医学) 上原吉就 | 疾病予防における身体活動に関する生化学的・分子生物学的研究 |
| | | ○教授 博士(医学) 檜垣靖樹 | 健康づくりのための身体活動・運動に関する生理・生化学的研究と分子疫学的研究 |
| | | 教授(論文指導補助) 博士(学術) 藤井雅人 | 運動文化とその振興に関する社会学的・教育学的研究 |
| | | 教授(論文指導補助) 山口幸生 | 健康づくりのための身体活動促進に関する行動科学的研究 |
| スポーツトレーニング 科 学 | スポーツトレーニング科学 特別研究 | ○教授 教育学博士 青柳 領 | 幼児の運動能力や環境との関連、高齢者の運動能力を主に統計学的手法を用いて研究する (令和6年度は募集しない) |
| | | ○教授 博士(体育科学) 川中健太郎 | 運動ならびに食事・栄養が有する健康づくり・体力向上効果を分子レベルで探求する |
| | | ○教授 博士(医学) 布目寛幸 | 優れたスポーツ動作に内包されたメカニズムを探求する |
| | | ○教授 博士(医学) 道下竜馬 | 健康づくりや疾病予防のための体力、運動、身体活動に関する生理学的、疫学的研究 |
| | | 教授(論文指導補助) 博士(体育科学) 柿山哲治 | ヘルスクオリティコントロールを用いた健康体力づくりに関する研究 |
| | | 教授(論文指導補助) 田中守 | 運動生理学的手法や体力測定評価法を用いながら、パフォーマンスの相違や改善のメカニズムを探求していく |
| スポーツ医科学 | スポーツ医科学 特別研究 | ○教授 博士(医学) 重森 裕 | 脳と神経の視点でみたスポーツにおける頭部外傷救急予防の研究 |
| | | ○教授 博士(医学) 吉村 一朗 | スポーツ傷害の病態に関する研究 |
| 共 通 | スポーツ健康科学 研 究 法 | 教授 博士(医学) 上原吉就 教授 博士(医学) 檜垣靖樹 教授 博士(学術) 藤井雅人 教授 山口幸生 教授 教育学博士 青柳 領 教授 博士(体育科学) 川中健太郎 教授 博士(医学) 布目寛幸 教授 博士(医学) 道下竜馬 教授 博士(体育科学) 柿山哲治 教授 田中守 教授 博士(医学) 重森 裕 教授 博士(医学) 吉村 一朗 | 3部門各教員の主要研究テーマに関するオムニバス形式の講義。3部門の関連領域の研究内容の理解を深める |

※第一、第二志望欄は、担当者欄の○印教授のうちから選んでください。

◇履修方法

- (1) 学生の標準修業年限は3年とし、所定の研究指導科目(特別研究)と共通科目(スポーツ健康科学研究法)について、合計14単位を修得しなければならない。
- (2) 学生は一つの特別研究を選定し、これをその学生の専修科目とする。
- (3) 特別研究科目は、3年間12単位の履修を原則とする。
- (4) 専修科目の研究指導(特別研究)担当者を当該学生の指導教員とし、学位論文の作成、その他研究一般について、その指導を受けるものとする。